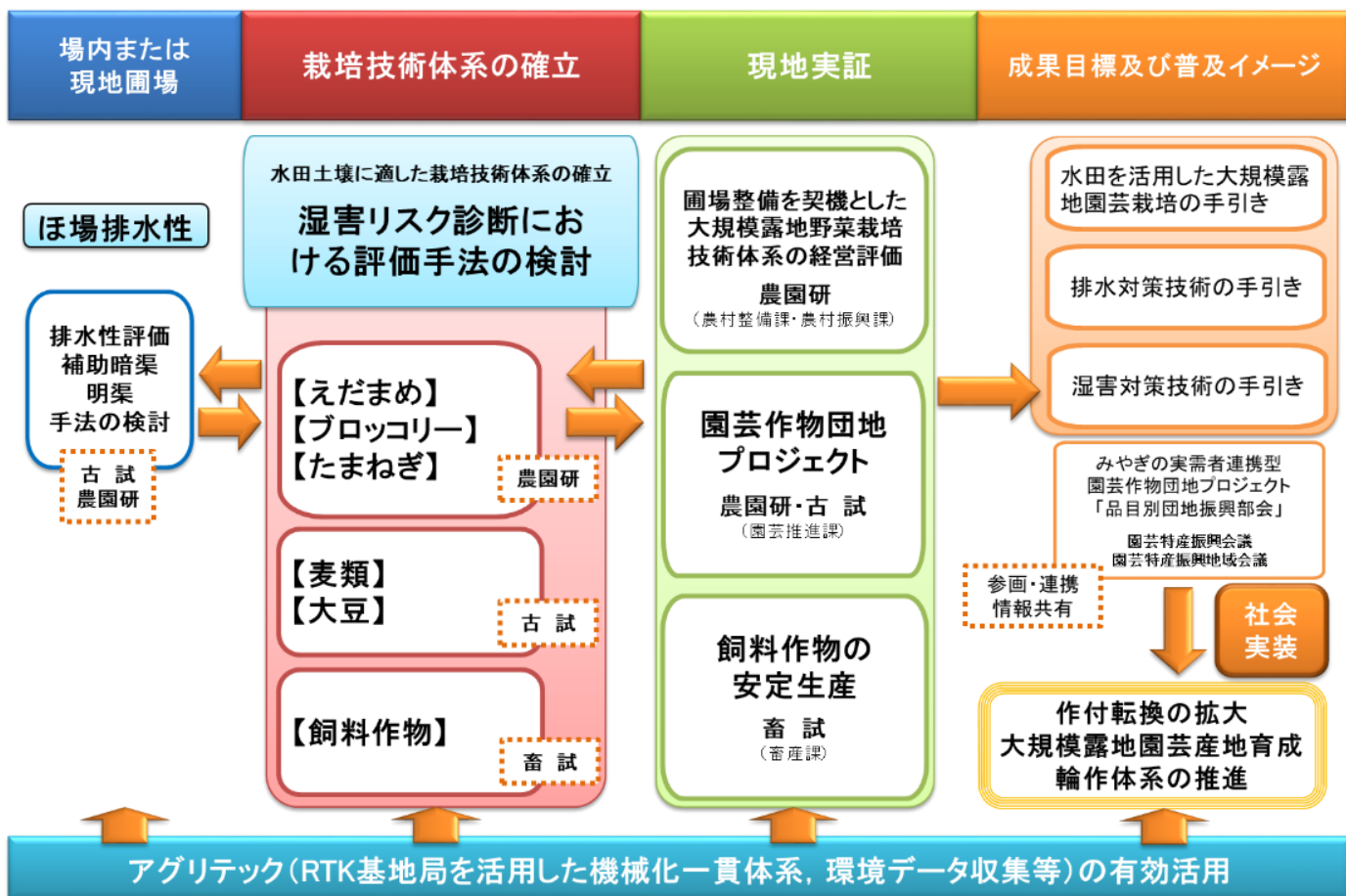


アグリテックを有効活用した 水田の高度利用による 作付け転換・輪作体系の推進

農業関係試験研究機関では、試験研究の推進と連携を円滑に進める必要があることから、令和4年度より、試験研究機関が連携した一体的な研究に取り組んでいます。

米の消費減少やほ場整備の進展により水田における麦類・大豆や高収益（園芸）作物、飼料作物生産の推進が重要となってきています。しかしながら、排水対策や輪作体系の確立については十分な知見が得られておらず、現場で試行錯誤しながら各品目が作付けされ、十分な収量、品質が得られない事例も少なくありません。このため、現地の実証ほ等において、RTK基地局の有効活用やほ場環境データの収集等を通して、湿害リスクや排水対策、栽培方法、経営評価などについて試験研究機関が連携して課題解決に取り組めます。



エダマメ収穫機の現地検討



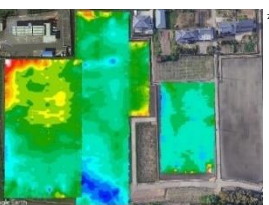
RTKを活用したブロッコリーの畝立て・定植作業



子実用トウモロコシの収穫



水田における補助暗渠施工研修会



パレイショ実証ほの土壤水分状況

水分多
少